

かりや夢ファンド補助金公開審査会について

1 目的

市民からの提案を聞き、質問などを含めたコミュニケーションを行うことで、今後の刈谷のまちづくりに向けた知恵の交換や共感を育むとともに、提案事業の審査を行います。

2 開催日時・場所

(1) 日時 令和6年1月13日(土) 13時～16時20分

(2) 場所 審査会場：刈谷市民ボランティア活動センター

審議会場：刈谷市社会教育センター502実習室

3 申請団体

(1) まちづくり活動支援事業補助金：5団体（公開審査会での審査は2団体）

・SUHARA MUSIC FES 実行委員会

・手品会

・circulation_beans コーヒーかすの再利用活動 ※

・アジア子ども美術協会（ACHAA）※

・ふれあい泉田朝市会 ※

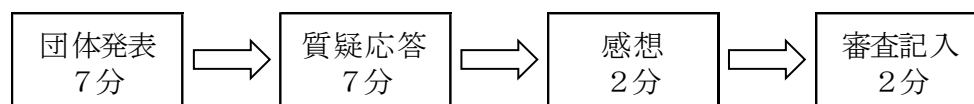
※申請見込金額5万円以下のため、公開審査会不要

(2) NPO法人設立支援事業補助金：1団体

NPO法人幸縁（しえん）

4 提案者によるプレゼンテーションと質疑応答・感想

(1) 事業ごとに、以下の流れで審査を行います。



(2) 事業毎に、最初に質問する担当と感想を述べる担当を、予め決定します。

2つ目以降の質問は、順番を決めませんので積極的にお願いします。

質問する際は、時間配分や内容のバランスに配慮をお願いします。普段の活動内容等団体自体を問う質問よりも、事業内容についての質問を優先してください。

感想を述べるのは、基本的には1人とし、提案を聞いてよかったところ、

共感したところ、改善してほしいところ、さらにステップアップするためのポイントなど、団体の今後の活動が活性化するような応援メッセージをお願いします。

(3) 本部会で出た意見を取りまとめ、その内容を踏まえたプレゼンテーションをするよう団体に依頼します。

(4) 質疑応答終了後、2分間で採点をお願いします。各提案の良かった部分・応援したい部分・改善部分などのコメントについても、審査シートに積極的にご記入ください。なお、ご記入いただいたコメントは、無記名で取りまとめ、団体宛てに審査結果と併せて送付します。また、審査シートは点数集計のため、全審査終了後に事務局が回収します。

(5) 刈谷市民ボランティア活動センターのロビーを活用したPRも参考にご覧ください。

5 審査方法

(1) 審査は、公開審査によって行い、書面やプレゼンテーションを通して総合的に評価します。

(2) 審査員は、夢ファンド部会員の皆様に務めていただきます。なお、審査委員長は熊澤部会長、審議進行は米田委員をお願いします。

(3) 事業ごとに審査員の合計得点を平均し、提案事業の採択を決定します。

(4) 審議により、事業の企画・運営・申請額等に再検討を必要とすると判断したもののについては、「条件付」とします。

6 審議

(1) 総合得点が高いものは、認定を前提とし、確認作業を中心に行います。

(2) 基準点を満たしていない事業は、その理由を明確にして不採択とします。

(3) 補助金交付の当落線上にある事業は、「総合的な評価」「審査員による得点の高低が大きい項目」等についてその判断理由を確認しながら、採点の内容を再確認します。

(4) 各事業について、条件を付すべき内容がある場合は、指摘のポイントを整理します。

7 結果発表

(1) 事務局から集計結果を発表します。ただし、今回の審査会はあくまでも補

助金交付の認定団体を決定するものであるため、認定団体は改めて4月以降に交付申請をすることを伝えます。

(2) 審議で「条件付」とされたものについては、結果発表時にその旨を伝えます。

(3) 審査委員長から全体の講評を行います。

(4) 審査結果は、すべての提案事業について、①得点結果、②条件付の場合は条件の内容、③コメント等を文書で記載し、後日郵送にて通知します。

(5) 条件付の事業については、後日期限を定めフォローアップ調査を行います。条件を満たしているか否かについて、審査委員長と協議を行い、次回全体会にて議題として採択の可否を判断していただきます。

(6) 審査結果は、採択された事業について、市ホームページにて公開します。

(公開範囲：団体名、事業名、事業概要、得点)

(7) 個別に情報公開を請求された場合には、審査員を匿名にして審査集計票(審査項目毎/審査委員毎の得点を記載)を公開します。

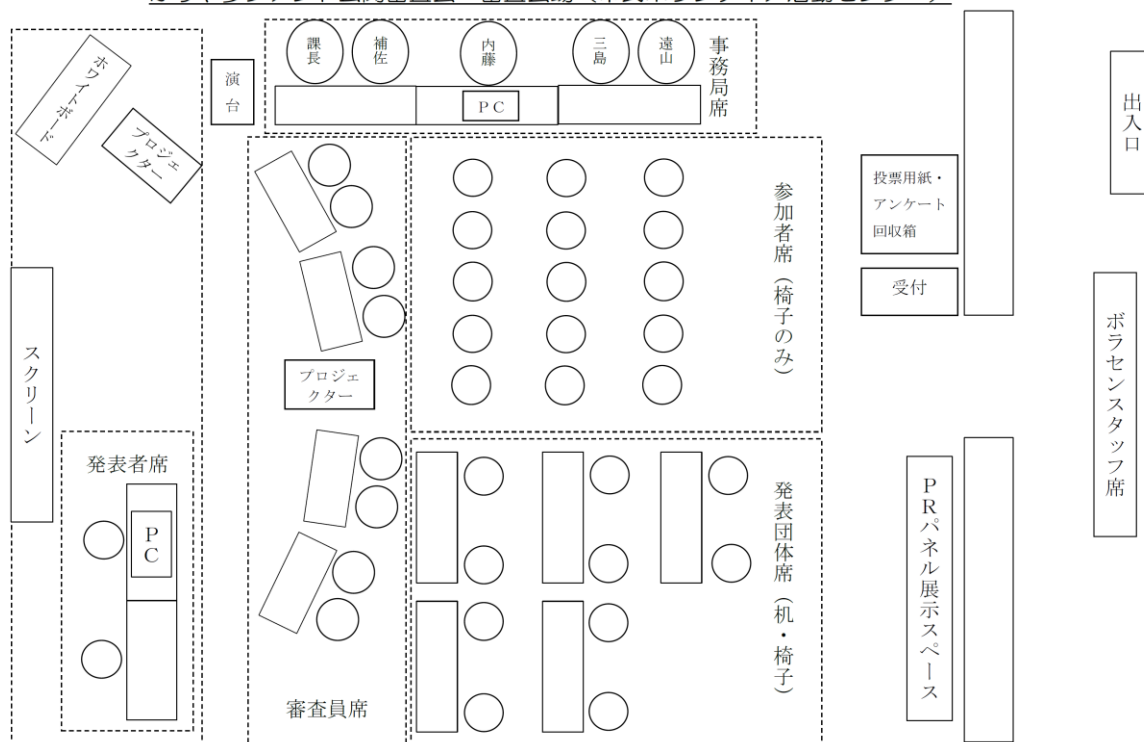
8 公開審査会プログラム

時 間		内 容
12:20	30分	事務局集合・準備
12:50	10分	審査員集合
13:00	30分	受付・審査員説明
13:30	15分	開会・概要説明
13:45	20分	プレゼンテーション1
14:05	20分	プレゼンテーション2
14:25	20分	プレゼンテーション3
14:45	15分	集計
15:00	60分	審議
16:00	15分	結果発表・講評
16:15	5分	閉会

刈谷市社会教育センター
502実習室にお集まり
ください。

9 会場レイアウト

かりや夢ファンド公開審査会 審査会場（市民ボランティア活動センター）



まちづくり活動支援事業補助金 審査シート

提案団体名 _____

審査員氏名 _____

申請回数
□

提案順
□

提案事業名 _____

審査の視点	審査のポイント	審査点数	メモ・質疑事項
①主体性・協働性	課題を自分ごとと捉え、他の主体に依存することなく、自分たちでできることを行おうとしている。 さまざまな市民や団体が参加し、つながる機会をつくっている。	5・4・3・2・1	
②公益性	まちの課題や市民のニーズに対応し、多くの市民の利益に貢献することができる。 事業を通して人々の共感を得て、意識を向上させていくことができる。	5・4・3・2・1	
③独創性・先駆性	新しい課題やテーマ、視点からの取り組みである。 事業の進め方や手法に工夫があり、団体の特性が活かされている。	5・4・3・2・1	
④実現性	事業計画やスケジュール、収支計画が具体的・妥当である。 団体としての組織力があり、事業を効果的に行うことができる。	5・4・3・2・1	
⑤発展・継続性	将来的な事業の発展性を検討している。 今後も刈谷で継続した取り組みを行おうとしている。	5・4・3・2・1	
合計点 (25点満点)			
総合評価・コメント			

※審査は1～5の5段階評価で採点します。下記を参考に審査点数欄の点数に丸をつけてください。

5：特に優れている／想定以上の効果が期待できる

4：優れている／かなり効果が期待できる

3：平均的・普通である／一定の効果が期待できる

2：もう少し努力が必要である／少しは効果が期待できる

1：努力が必要である／あまり効果が期待できない

NPO法人設立支援事業補助金 審査シート

提案団体名 NPO法人幸縁（しえん）

審査員氏名 _____

申請回数

2回目

提案順

3

審査の視点	審査のポイント	審査点数	メモ・質疑事項
① 課題解決力	団体の活動が、刈谷のまちの課題、市民のニーズに的確に対応している。	5・4・3・2・1	
② 発展・継続性	将来的な事業の発展性を検討している。 今後も刈谷で継続した取り組みを行おうとしている。	5・4・3・2・1	
③ 公益性	団体の活動が、多くの市民や団体の利益に貢献する。	5・4・3・2・1	
④ 実現性	刈谷のまちにおいて、充実したまちづくりを行う見通しがある。	5・4・3・2・1	
⑤ 組織力	法人設立後の運営についての役割分担がしっかりしている。 組織力を高めていくための計画がある。	5・4・3・2・1	
⑥ 補助による効果	補助金を交付することに対する効果が大きい。	5・4・3・2・1	
合計点 (30点満点)			

総合評価・コメント

※審査は1～5の5段階評価で採点します。

5：特に優れている／想定以上の効果が期待できる

2：もう少し努力が必要である／少しは効果が期待できる

4：優れている／かなり効果が期待できる

1：努力が必要である／あまり効果が期待できない

3：平均的・普通である／一定の効果が期待できる

まちづくり活動支援事業補助金

No.	団体名	代表者名	事業名	回数	事業目的	事業概要	事業費(円)	補助申請額(円)
1	SUHARA MUSIC FES 実行委員会	近藤 啓	第5回 SUHARA MUSIC FES	2	アマチュア音楽家に発表の場を提供し若手音楽家の育成に寄与する。 また、市民がこれを聴いて交流を深めることで地域社会の活性化につなげたい。	刈谷市および周辺で活動する若手音楽家と刈谷市北部地域住民を対象として発表者の公募を行い、令和6年4月7日(日)、刈谷市北部生涯学習センターにて音楽の発表会を開催する。また、キッチンカーやマルシェを誘致し地域住民に生の音楽と憩いの場を提供する。	1,200,000	200,000
2	手品会	向井 健人	マジックショー「マスカレードパレス」	1	市民にマジックショーを提供し、新しい芸術や価値観に触れる喜びを分かちあい、子どもたちの知的好奇心を刺激し豊かな感受性を育むことで、地域の芸術活動の活性化につなげる。 また、コロナ禍で活躍の機会が減った若手マジシャンにマジックショーの場を提供し、若手マジシャンの育成に寄与する。	10月に刈谷市総合文化センター小ホールで、若手マジシャンを中心とする出演者を集め、市民を対象にマジックショーを開催する。 マジックショーは仮面舞踏会をテーマとし、観客にはハロウィンの時期に合わせて仮装で参加いただくことで、ハロウィンイベントとしても家族や友人と共に楽しめる場を提供する。	998,000	200,000
3	circulation_beans コーヒーかすの再利用活動	大浦 智香	circulation_beans コーヒー豆のかすから“うまれる・つながる・循環する”まちのみんなのコミュニティガーデン事業	2	市内コーヒーショップ等から回収したコーヒーかすを「いこいプレイス」が運営する畑で地域の人と再利用して作物を栽培することで、市内のごみの廃棄量減少と市民同士の交流の活性化を図る。	令和5年春より、畑にてコーヒーかすを堆肥化させ作物を栽培し、収穫物を利活用している。 今年度より継続して、コーヒーかすをもとにした市民向けのコンポスト体験(勉強会)を実施し、学び合う機会を設けるとともに、収穫物によるワークショップを実施して市民同士の交流の活性化を図る。また、福祉事業所と連携して収穫物の加工を行い、製品化して販売する。 なお、堆肥供給量を増やすため、コーヒーかす入り堆肥を用いた栽培効果検証にも注力する。	110,000	50,000
4	アジア子ども美術協会 (ACHAA)	藤原 孝太郎	アートと共生社会を繋ぐ ～子どもKARIYA場(BA)～	1	健全な子や障害のある子の区別なく、すべての子どもたちが共に好きな絵を描くインクルーシブアート活動の機会を設ける。 刈谷市からインクルーシブアートと共生社会を繋ぐ情報発信を行う。	月1回、市内を中心とした子どもたちとその家族に向け、子どもたちに興味を持ってもらえるテーマで造形活動を実施する。 また、市内のギャラリーで常設の作品展示やワークショップを行い、活動発表と広報活動を行う。	98,400	49,000
5	ふれあい泉田朝市会	塚崎 和俊	ふれあい泉田朝市(こどもイベント)	3 ※	日頃関わりが薄い子どもたちと大人(特に高齢者)が、子供イベントにて応援などを含め楽しむことで世代間交流及び地域の活性化を図る。 ※団体としては3回目の申請だが、過去2回と異なり今回は子供向けイベントに特化している	八王子神社で開催するふれあい泉田朝市にて、年2～3回(春休み、夏休み、冬休み)0歳から小学生を対象に以下の子供イベントを実施する。 ・4、7月:ゲームを実施し、上位者には景品を渡す。 ・12月:クリスマス会と称し、参加者へサンタからプレゼントを渡すとともに、手作りのトナカイやソリでイベントを盛り上げる。 なお、地域の回覧板や掲示板、当日は街宣車を用いて周知をする。	75,500	37,000
合計							2,481,900	536,000

NPO法人設立支援事業補助金

団体名	代表者名	事業名	回数	活動目的	活動分野	事業費(円)	補助申請額(円)
NPO法人幸縁(しえん)	近藤 咲		2	国境を越えた人と人とのつながりに価値を置きながら、グアテマラ共和国の子供たちへの就学費支援や学習指導、同国の子供をとりまく生活基盤の向上を目指した就労支援、また、日本(刈谷市)とグアテマラ両国の同世代の子供の交流を通じて国際理解教育の推進に関する事業を行い、教育格差や貧困問題に係る問題の改善や解決を図り、個々の社会貢献への意識の向上と自立を促し、よりよい社会実現のためへの人材育成に寄与することを目的とする。	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 国際協力の活動	100,000	50,000

かりや夢ファンド補助金制度の今後に向けた検討

1. かりや夢ファンド採択団体アンケート調査概要

【調査目的】	採択団体の事業実施後の状況を把握し、補助金制度の見直しと、市民活動団体の活性化につながる支援策を検討する。
【調査対象】	[1]まちづくり活動支援（H29-R3）21事業 [2]NPO法人設立支援(H24-H31)8事業
【調査期間】	2023年8月9日～9月8日
【回収率】	58.6%（回収数／送付数＝17／29事業） ※但し、調査対象母集団が小さくサンプル数が少ないため、状況把握は限定的。

2. 調査結果〔全体＝（〔1〕活動＋〔2〕設立）〕

- 1) 補助金を活用してよかったこととしては、活動・団体の「認知度を高める」が最も多い。「担い手の力量が上がった」「協働相手との連携が深まった」といった人的な資源が豊かになったという回答も多かった。(p.2/A-2)
- 2) 補助事業の現在の状況は、「発展して実施」が8件と最も多く、「そのまま継続」3件、「縮小して継続」2件と合わせると活動継続は13件にのぼり、3/4は継続している。(p.3/A-3)
- 3) 助成期間中の支援ニーズとしては「広報・PR支援」が最も多く、「他団体等との関係づくりの仲介」「役割分担・運営体制の相談・助言」「事例の情報提供」が続く。(p.7/A-6-1)
- 4) 助成期間終了後の支援ニーズでは「資金調達の情報提供」が最も多い。(p.8/A-6-2)
- 5) 活用しやすくするための希望としては、「補助上限額を上げる」「助成回数制限見直し」「補助対象経費見直し」のニーズが高い。(p.9/A-7)
- 6) 団体の財政規模は、「NPO法人設立」を活用した団体は300万円以上で、全国規模の助成金を活用している。(p.10-12/A-8,10)
- 7) 資金源では、「寄附」を増やしたいニーズが最も高く、次に、会費、自主事業の順となった。(p.11/A-9)

3. 検討の視点

A：補助金制度の論点（p.9/A-7）

- ・補助上限額：金額希望等の具体的な記述なし
 - ・補助回数：回数の増加により、人的・資金面で資源とのつながりが深まることへの期待。
 - ・対象経費：NPO法人設立当初の維持管理費のニーズが寄せられている。
 - ・補助率：実績報告・活用状況報告を前提に100%補助への期待。
 - ・一部前払い：準備期間に必要な経費が多く、全て立替払いになっている状況がある。
- ※以上の記述に留まらず、ヒアリング等でニーズ把握の補足が必要。

B：補助金採択事業の継続・発展に向けた支援

- ・助成期間中の支援：2.3)のとおり、幅広い支援ニーズあり。誰が（まちコ、ボラセン、専門家、プロボノ等）どのような内容（現場訪問時等で状況把握・情報提供）の支援を行うか掘り下げる必要がある。
- ・助成期間終了後の支援：支援ニーズは2.4)のとおりだが、今後の収入源は寄付・会費・自主事業のニーズが高い。他助成金等の外部資金に加え、団体の認知度向上、継続的な支援者の獲得等がポイントとなる。
→寄付・会員獲得に向けては、広報・PRに関わる研修、アドバイザーによる相談会、目標を設定しての伴走支援等が考えられる。
また、他助成金の情報提供、報告会等で先輩団体から補助金活用事例を学ぶ等、運用上の工夫の余地あり。

●今後の進め方

- ・運用面で改善できるものについて、可能なものは次年度募集からの実施を目指す。
- ・枠組みの見直しが必要なものは、中長期において検討を進める。

かりや夢ファンド補助金事業の活動状況についての調査結果

【調査のねらい】

採択団体における事業実施後の状況を把握し、事業継続及び発展に必要な支援の在り方を検討すること。

1 2つの補助部門に調査を実施し、以下の回答状況でした。

【調査実施方法】	アンケート調査
【時期】	2023年8月9日～9月8日
【全体】	送付数=29 回収=17 回収率58.6%
【活動】まちづくり活動支援実施事業 [H29～R3]	送付数=21 回収=14 回収率66.7%
【設立】NPO法人設立支援実施事業 [H24～H31]	送付数=8 回収=3 回収率37.5%

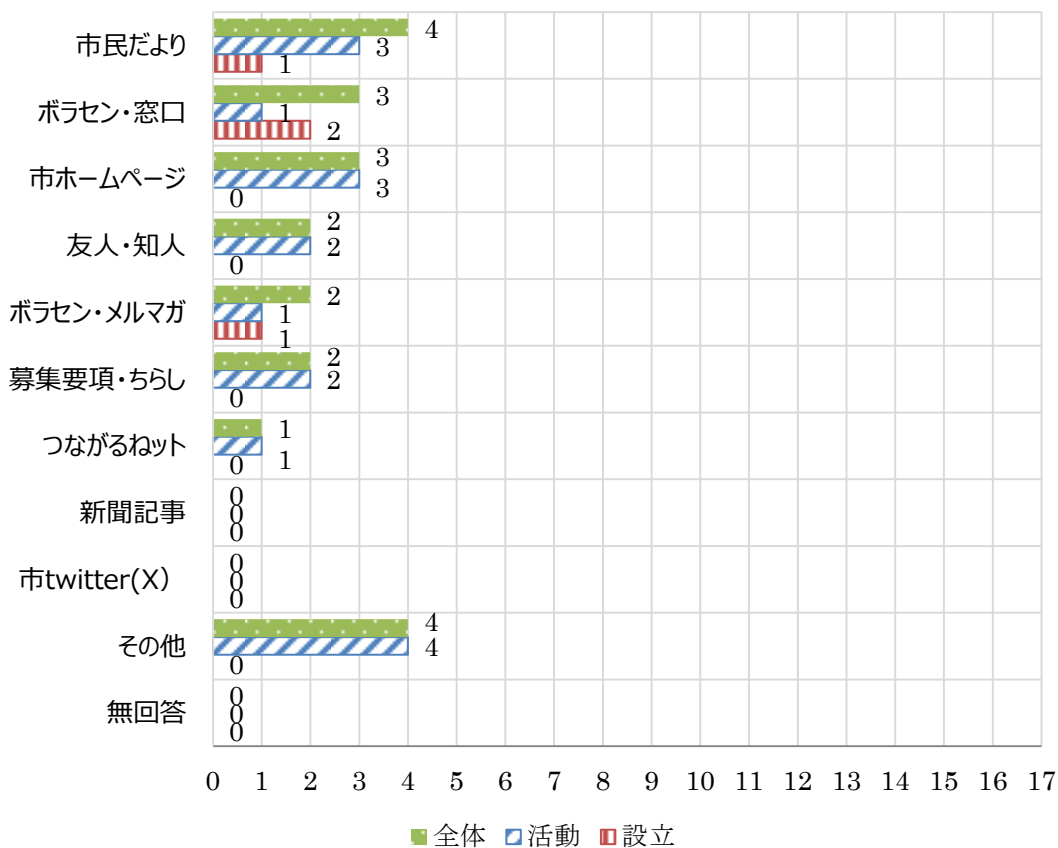
(但し、調査対象母集団が小さくサンプル数が少ないため、状況把握は限定的である。)

2 調査結果

A-1 情報源

- ・【全体】では「市民だより」4件が最も多い結果となった。
- ・【まちづくり活動】では、「市民だより」「市ホームページ」3件で同数1位であることに加え、「募集要項・ちらし」2件と続き、行政からの情報発信により申請につながる傾向があった。
- ・【NPO法人設立】では、「ボラセン・窓口」「ボラセン・メルマガ」あわせて3件で、ボラセンからの情報発信が有効であった。

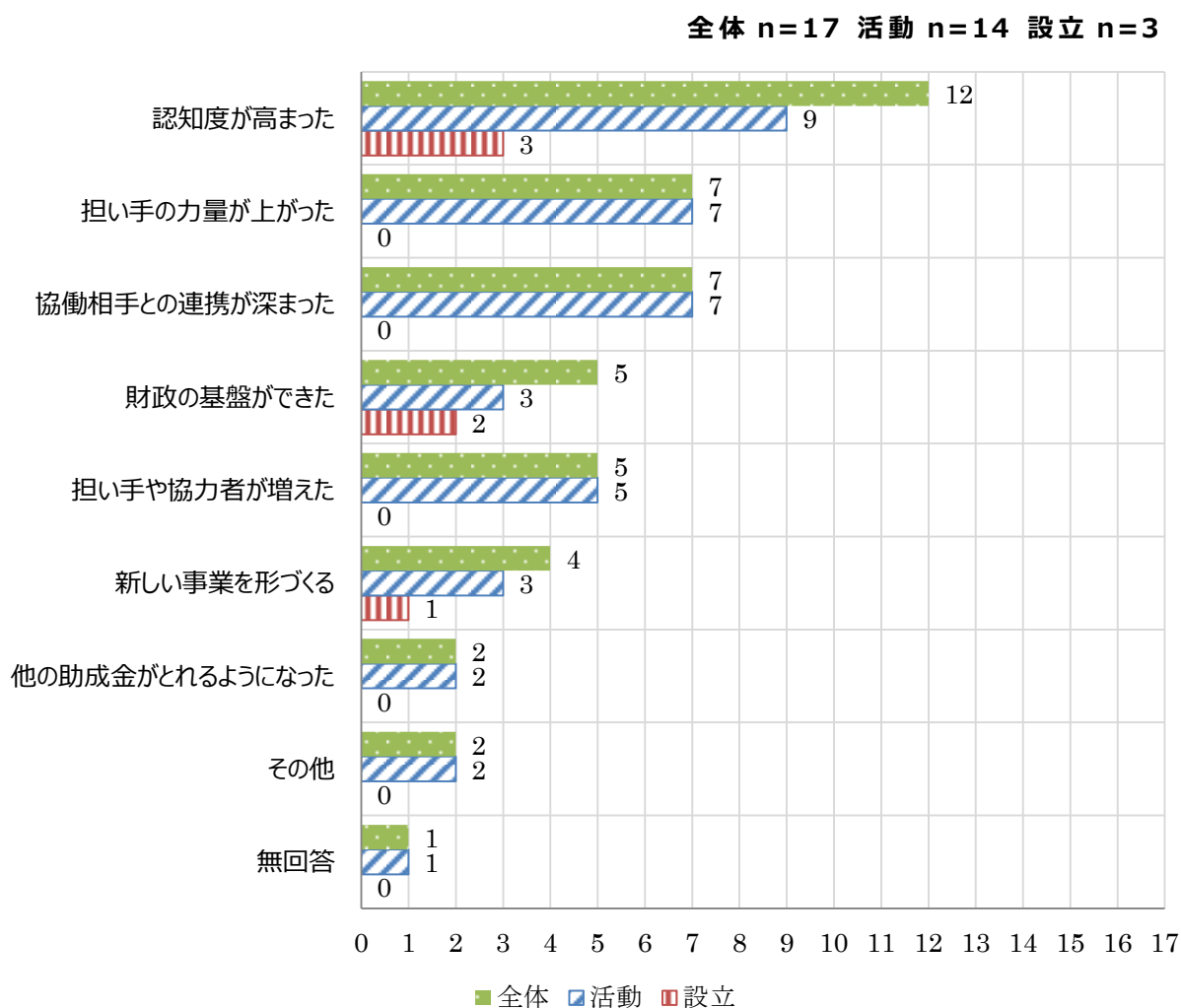
全体 n=17 活動 n=14 設立 n=3



▼その他回答；体験済み、推進委員会委員

A-2 活用してよかったこと

- ・「認知度が上がった」12件が最も多い【全体】。【NPO 法人設立】では全数を占めた。
- ・【まちづくり活動】では、「担い手の力量が上がった」「協働相手との連携が深まった」7件と続き、人的な資源が豊かになった成果が確認できた。
- ・【NPO 法人設立】では、「認知度が上がった」が全数を占めた。「財政の基盤ができた」2件と続き、立ち上げ期の資金を支えたことが確認できた。



▼ 具体的な内容 ;

【まちづくり活動】

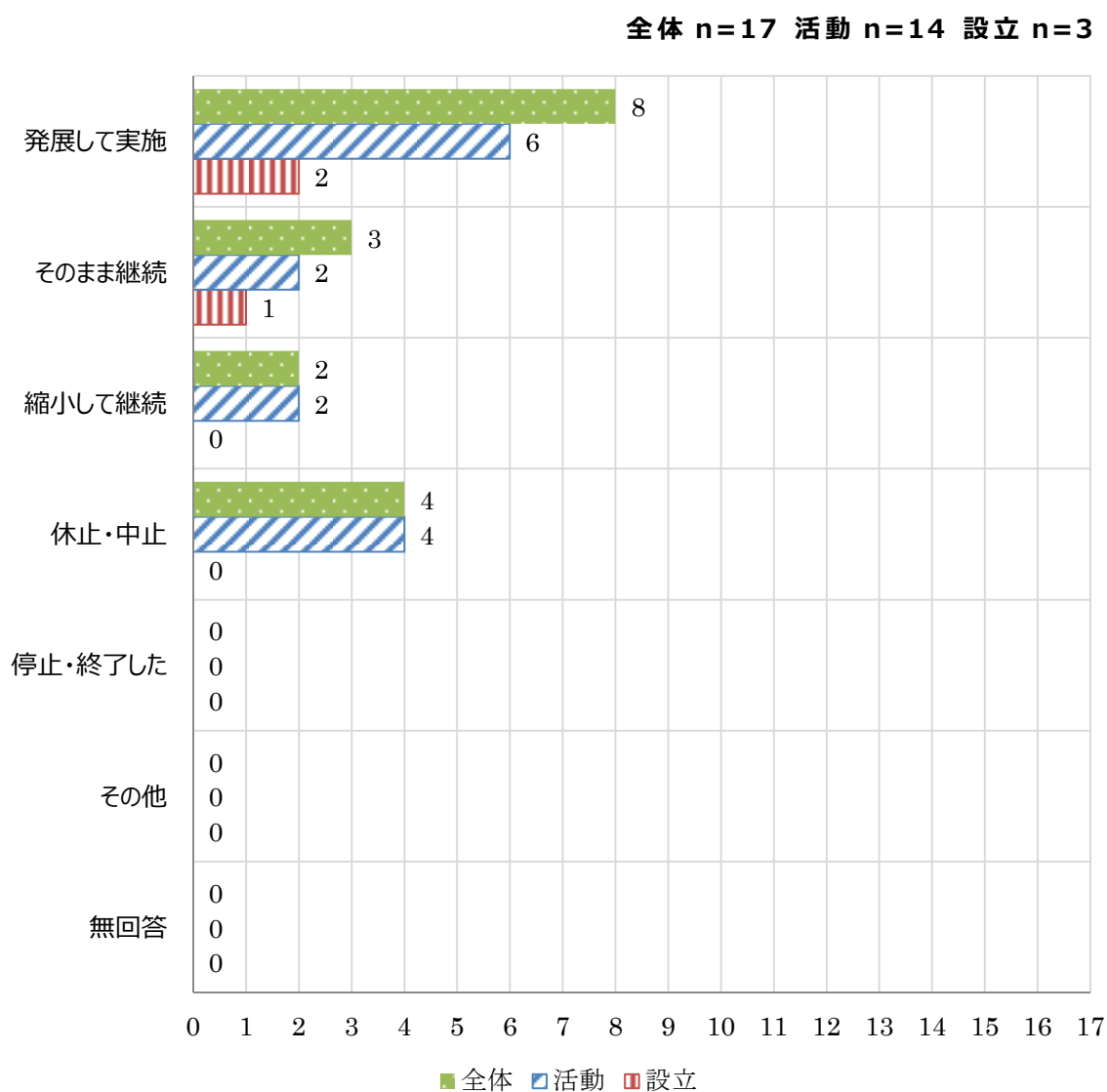
- ・活動内容が広く採用できた。
- ・スマッシュ R.C、西三河エリアワン、WAFCA、サンアイ、刈谷ホームニュース等々。大会の主旨を説明し、その結果多大な協力や協賛をいただいた。
- ・テント、椅子の設置により、雨天やお客さんにもやさしい活動ができ、雨天でも出来るようになった。
- ・活動の対象が「刈谷市」であったので、当局とのコミュニケーションがはかれ、大変有意義であった。

【NPO 法人設立】

- ・主要部署（市役所・ボランティア活動センター）にまずは PR できた。
- ・NPO 立ち上げの右も左もわからない中、運営基盤ができたことで活動の足場がしっかりした。団体の認知度と四方に、信頼をしてもらうこともできた。

A-3 実施した事業の現在の状況

- ・【全体】では、「発展して実施」が 8 件と最も多く、「そのまま継続」が 3 件と続き、あわせて 11 件にのぼった。「縮小して継続」2 件を合わせると、13 件となり、4 分の 3 の活動が継続している。
- ・「休止・中止」の回答のうち、半数はコロナによる活動見合わせを理由としており、アフターコロナ・ウィズコロナの活動にむけた支援の必要性がうかがえる。
- ・【NPO 法人設立】では回答のあったうち、「継続」「発展して実施」合わせて 3 件で、回答のあったすべての団体が継続していた。
※但し、NPO 法人設立送付対象のうち回答のない 2 法人は解散・活動停止している状況がある。



A-4-1) 具体的な状況

[まちづくり活動]

- ・ 翻訳の YouTube 展開を行った。毎回の防災講座で活用したり、訪れる防災学習センターなどに寄贈している。近々リニューアル予定。
- ・ その後、愛教大と企業と連携した CSR 啓発事業を実施したあと、市議選ごとに候補者紹介サイトを実施。
- ・ 年に 2 回開催。企業からの開催依頼があり、2023 年 9 月 30 日開催。
- ・ 農産物以外にも、アンマキ、玉子など、子供向けの駄菓子屋も行っている。
- ・ 毎月 1 回勉強会を継続。現在、避難所開設手順ができ、住民に配布できる A3 サイズ両面の避難マニュアルの作成に着手しており、今後は避難所運営についての勉強を進めていく予定。
- ・ 自分たち（主催者）も参加者も楽しめる大会に方向を変え、R5 年度は実施した。
- ・ 母体企業（2 社）の出資により、事業内容の質・量を維持して、継続している。
- ・ 桜祭りをしており、5 年経過したので終了する。

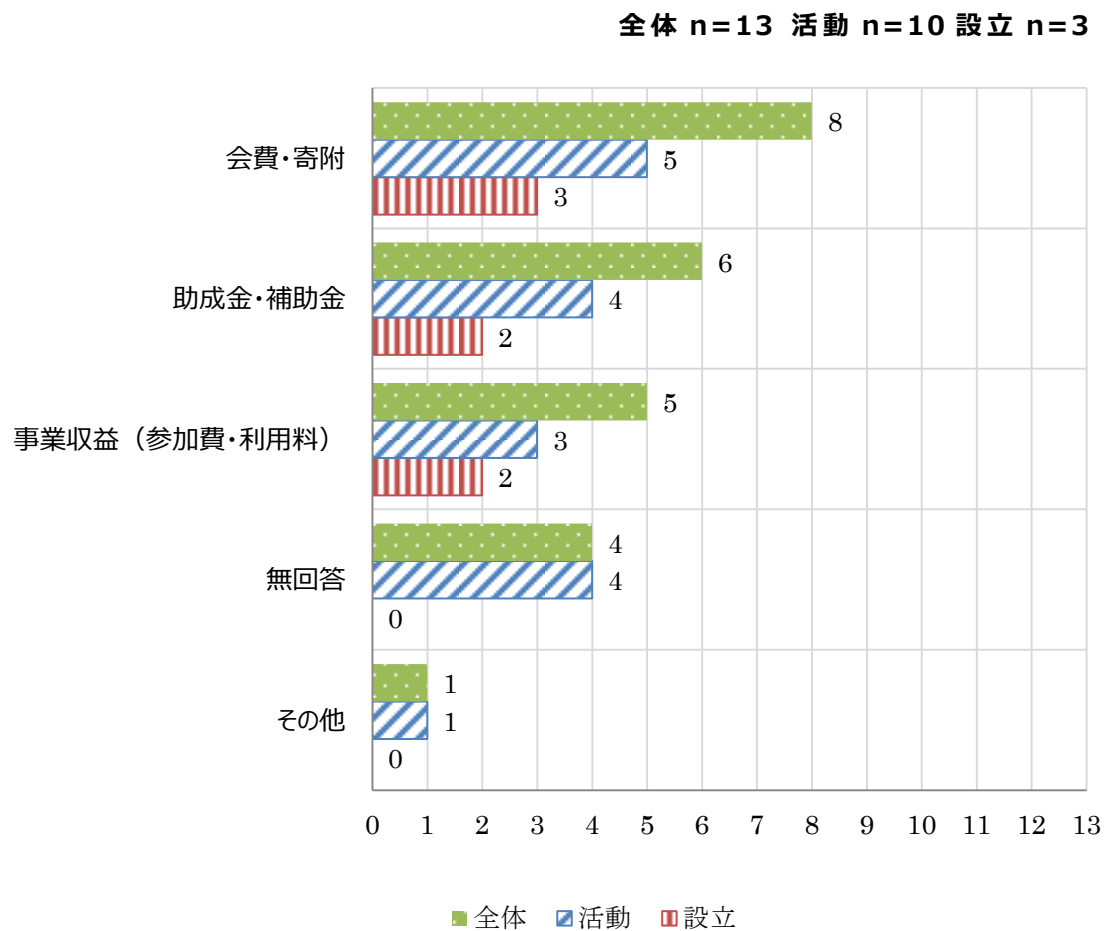
[NPO 法人設立]

- ・ 主旨、活動内容は全く変わらず、志も変わらない。コロナ禍の影響、少子化や多様化のためか会員数は減少している。当法人は助成金の申請がしにくい（福祉と違うため、活動自体は当たり前で特別なことをしている訳では無いから）ので自助努力で継続している。
- ・ 市や県の委託授業を受託したり、自主事業も定着しつつある。安定した拠点もできて、安心して活動ができるようになった。また、刈谷市をはじめ周辺市町村の関係機関とも連携を取り、見学や協働もできるようになってきた。
- ・ 当初の目的を達成し、その事業は法人成り（株式会社化）することができた。NPO では引き続き、グラスルーツ（草の根の活動）をすることができている。

【A-3】 「発展して実施」「そのまま継続」「縮小して継続」と回答した団体

A-4-2) 必要な資金の確保方法

- ・【全体】では、「会費・寄附」が8件と最も多く、「助成金・補助金」が6件で続き、「事業収益（参加費・利用料）」5件の結果であった。
- ・【まちづくり活動】では、「会費・寄附」が5件と回答のあった半数から該当する結果となった。
- ・【NPO法人設立】では、「会費・寄附」3件と回答のあった全団体が該当した。「助成金・補助金」「事業収益（参加費・利用料）」2件と同数2位であった。



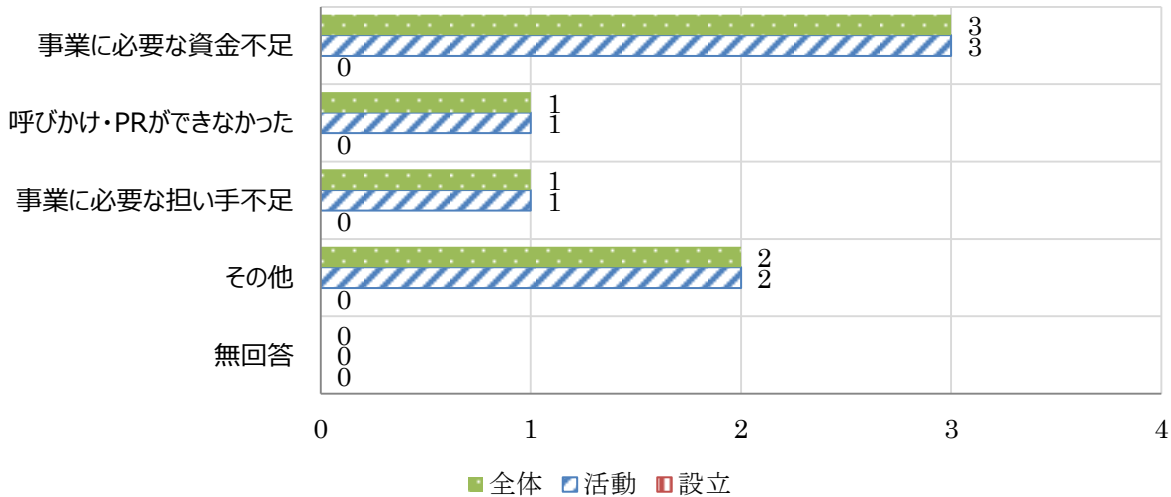
▼その他回答；母体企業からの資金援助

【A-3】 「休止・中止」「停止・終了した」と回答した団体

A-5-1) 「休止・中止」「停止・終了した」理由

- ・「事業に必要な資金不足」が3件と最も多く、「事業に必要な担い手不足」「呼びかけ・PRができなかった」1件で続いた。
- ・その他回答は2件ともコロナによる活動見合わせを理由としており、かつ『最も大きなもの』としての回答であった。

全体 n=4 活動 n=4



▼その他回答；コロナによる活動休止(2)

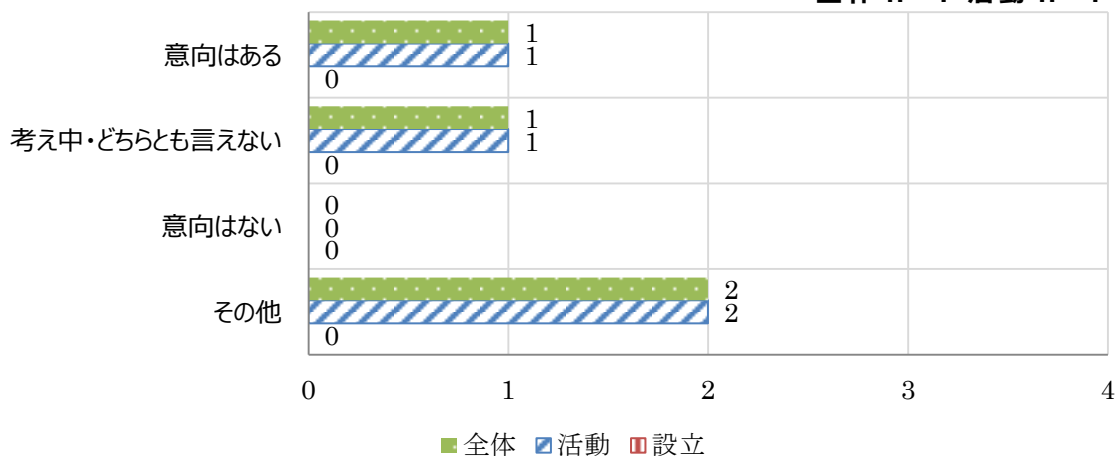
▼具体的な理由；

- ・第1回開催後に、コロナ禍となってしまう第2回の開催が出来ず、その間に人の出入りがあり必要な人材が確保できなかった。

A-5-2) 今後、事業を再開・実施したい意向

- ・「意向はある」、「考え中・どちらとも言えない」が各1件であった。
- ・その他回答2件はいずれも「再開の目途は立っていない」と回答している。

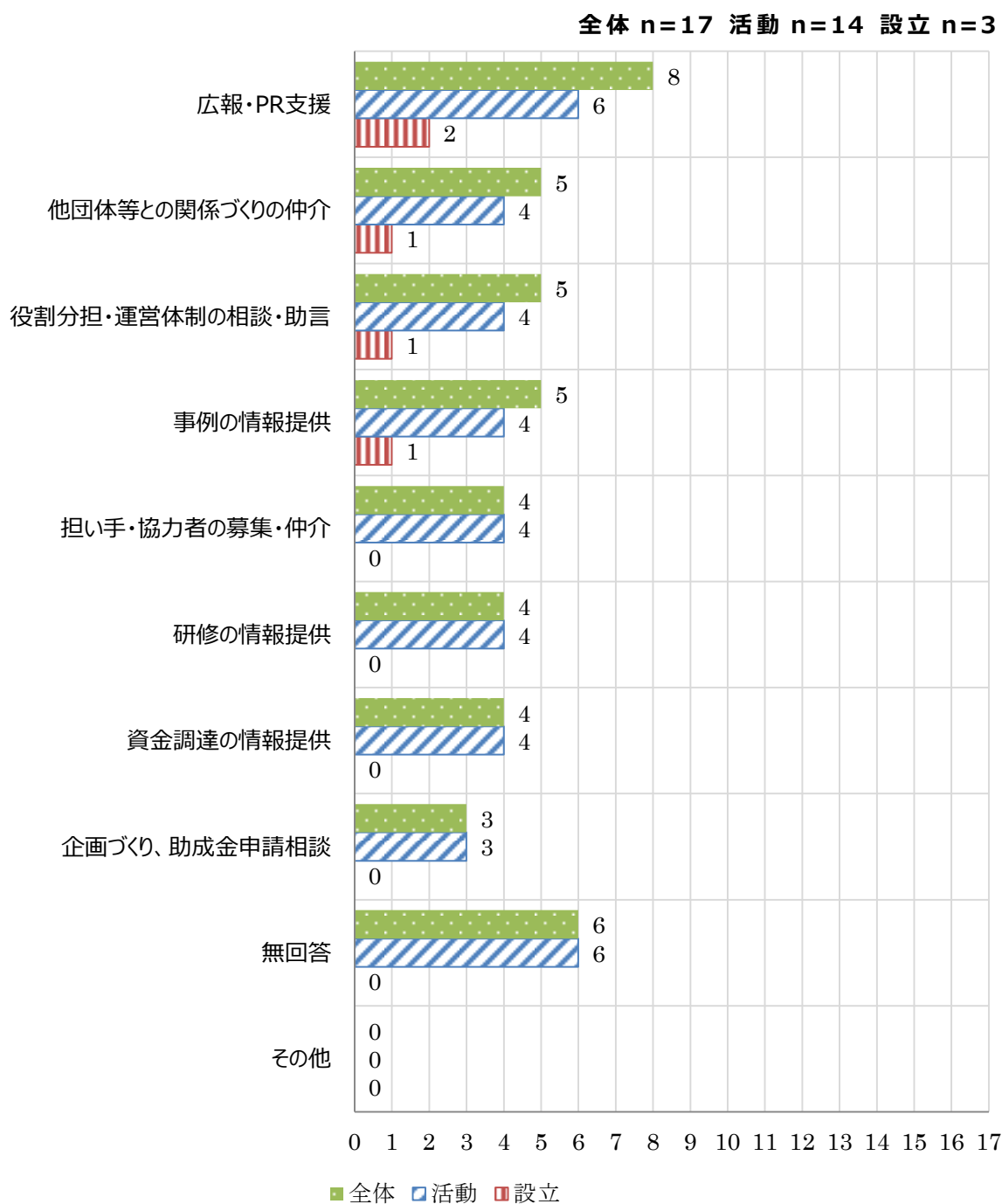
全体 n=4 活動 n=4



▼その他回答；再開の目途は立っていない

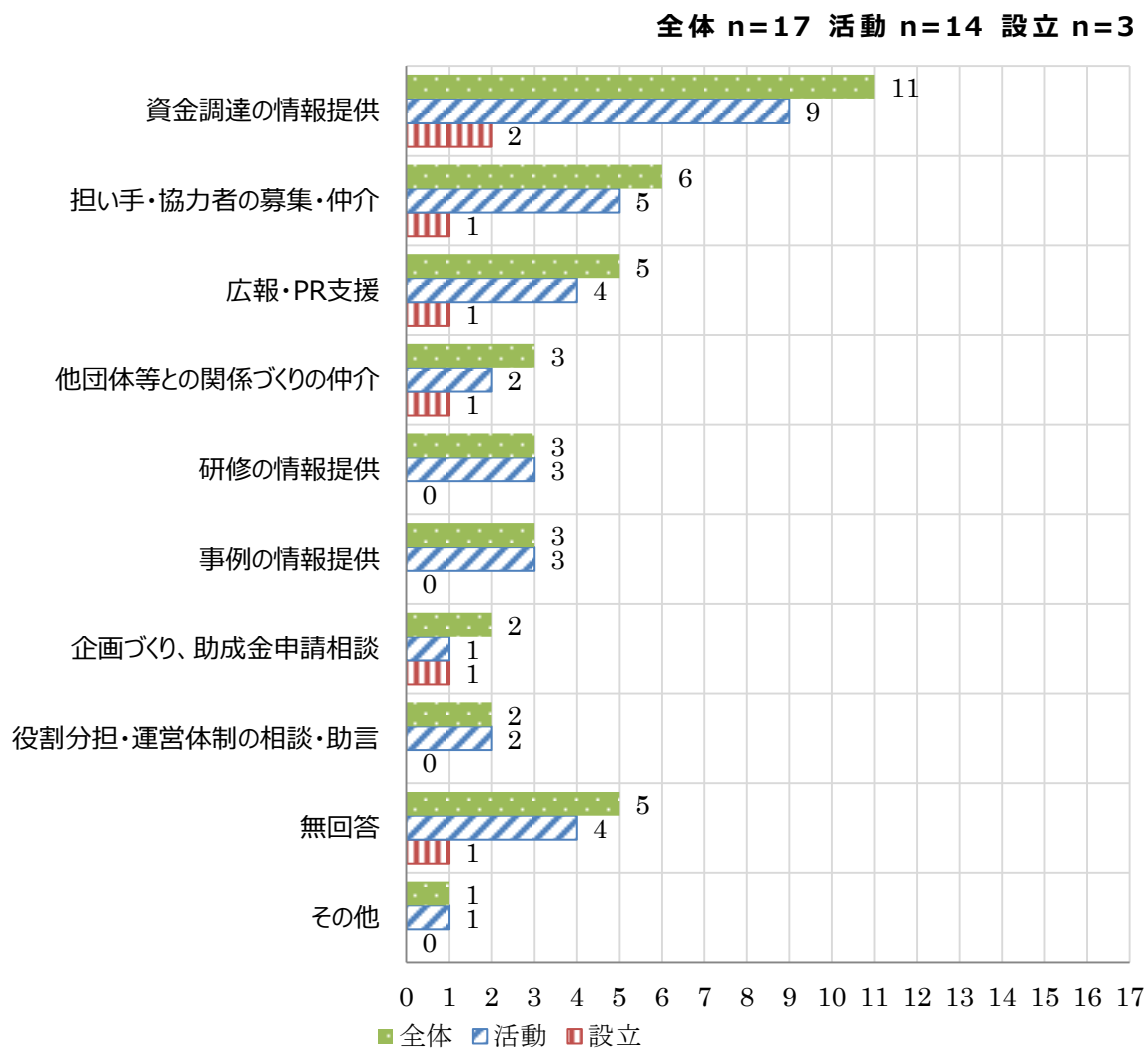
A-6-1) 事業を継続・発展するためにあつたらよかつた支援 【助成期間中】

- ・【全体】では「広報・PR支援」8件と最も多く、「他団体等との関係づくりの仲介」「役割分担・運営体制の相談・助言」「事例の情報提供」5件と続いた。
- ・【まちづくり活動】では「広報・PR支援」6件と最も多いものの、以下6つの回答項目が同数4件で続き、幅広い支援が求められる傾向がある。
- ・【NPO法人設立】では「広報・PR支援」は3件中2件から望まれる結果であった。



A-6-2) 事業を継続・発展するためにあつたらよかつた支援 [助成終了後]

- ・【全体】では「資金調達の情報提供」11件と最も多く、「担い手・協力者の募集・仲介」6件と続いた。
- ・【まちづくり活動】では「資金調達の情報提供」9件と最も多く、「担い手・協力者の募集・仲介」5件、「研修／事例の情報提供」各3件と続き、情報提供を求められている。
- ・【NPO 法人設立】では「担い手・協力者の募集・仲介」「広報・PR支援」「他団体等との関係づくりの仲介」「企画づくり、助成金申請相談」各1件と同数2位となり、活動実施に向けた支援が求められる傾向にある。



▼具体的な支援内容；

[まちづくり活動]

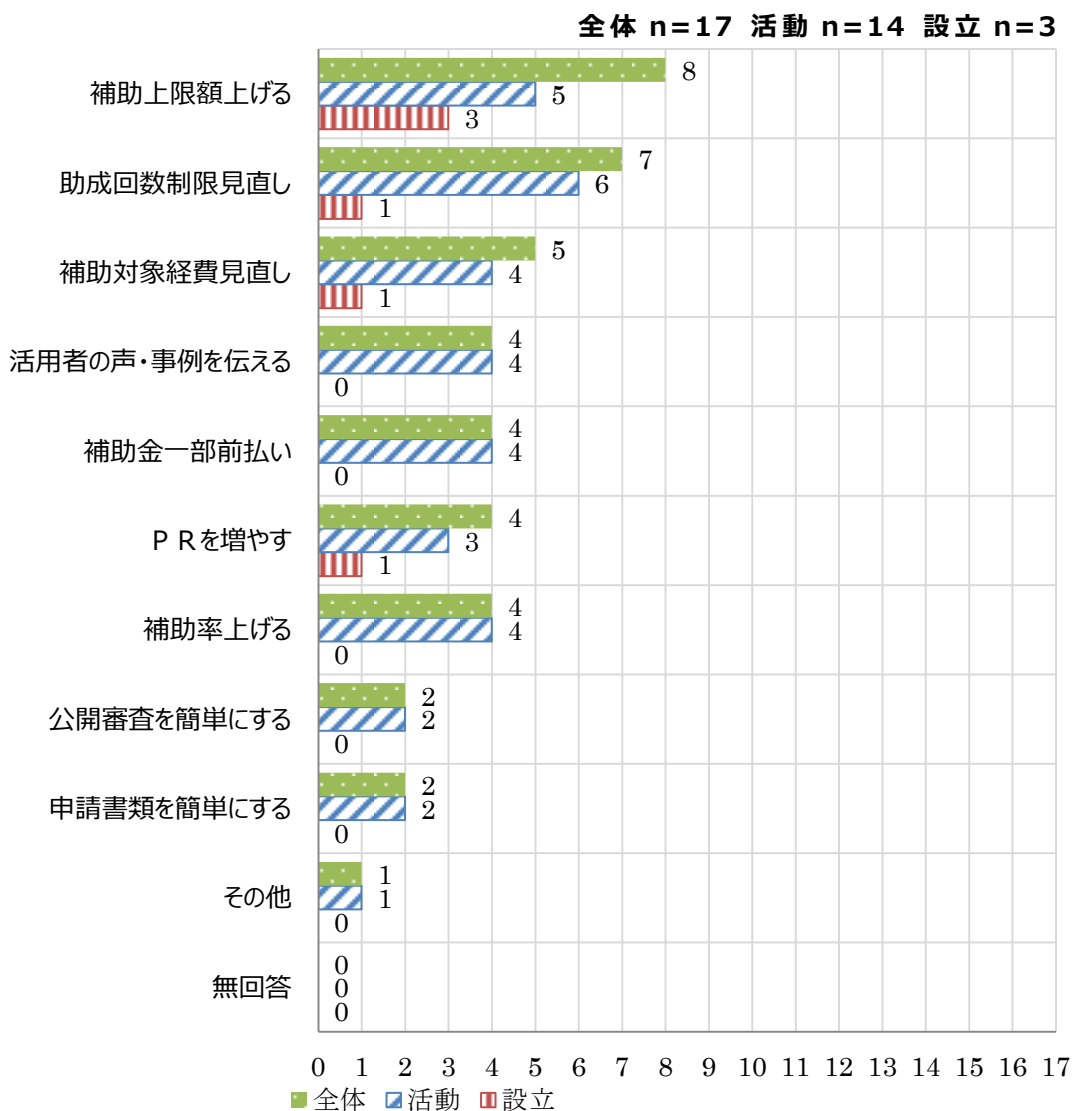
- ・自主グループで大会運営するまでの資金的にゆとりはないので、継続的に資金調達できる方法、支援がありがたい。
- ・住民の期待に応える定期的開催をし、定着している。活動費の助成。
- ・避難所開設手順書を作成した中で、防災倉庫には常備されていない備品・物品がある。これらについては、常備品として在籍するなどの補助をお願いしたい。
- ・調査対象の情報提供があると、きめ細やかな調査が行えると思う（各自治会・学校・道路管理者）

[NPO 法人設立]

- ・行政による団体紹介や活動を周知する機会があるとイメージアップになる。
- ・今後より活動を発展させるために、人を雇うための労務管理についての知識が欲しい。また、結果を出せる法人運営の資金調達の方法を具体的に知りたい。

A-7 活用しやすくするために希望する項目

- ・【全体】では「補助上限額を上げる」8件、「助成回数制限見直し」7件、「補助対象経費見直し」5件と続いた。
- ・【まちづくり活動】では「補助対象経費の見直し」「活動者の声・事例を伝える」「補助金一部前払い」「補助率を上げる」が4件と同数3位となった。
- ・【NPO法人設立】では「PRを増やす」「助成回数制限見直し」「補助対象経費の見直し」が1件と同数2位であった。



▼その他回答；報告書を簡便にする

▼具体的な内容；

【まちづくり活動】

- ・助成回数が増えると、人もお金も増やしやすくなる。
- ・継続的な資金援助ができるスポンサーを紹介して欲しい。
- ・SNS 広告
- ・活動費、お客の要望に応えるイベント代が欲しい。
- ・支払が準備期間に最も多く発生するのに全て立替えになっている。
- ・調査結果（成果資料）の公表

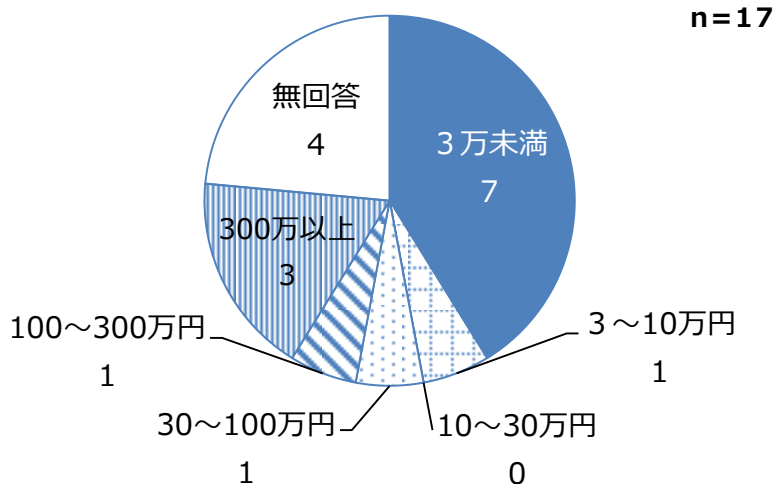
【NPO 法人設立】

- ・公費を使うため無理だとは思いますが、設立当初は維持費が不安。
- ・NPO 設立時はすべてが初めてで戸惑うことばかり。わかりやすく説明してもらえるとありがたい。

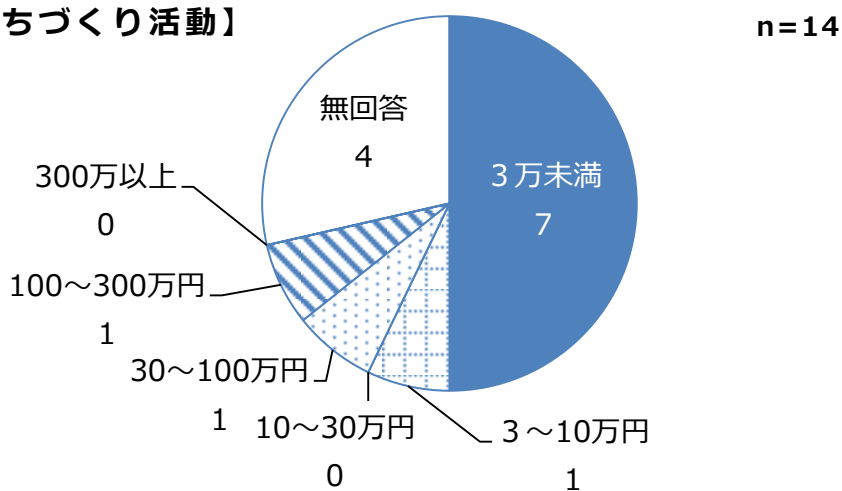
A-8 団体の財政状況

- ・【全体】では「3万未満」が7件と最も多く、「300万以上」3件と次に多い結果であった。「3～10万」「30～100万」「100～300万」が各1件と続き、「10～30万」は0件であった。
- ・【まちづくり活動】では「3万未満」が7件と最も多く、「300万以上」は0件であったのに対し、【NPO法人設立】では「300万以上」が3件と回答したすべての団体が該当した。

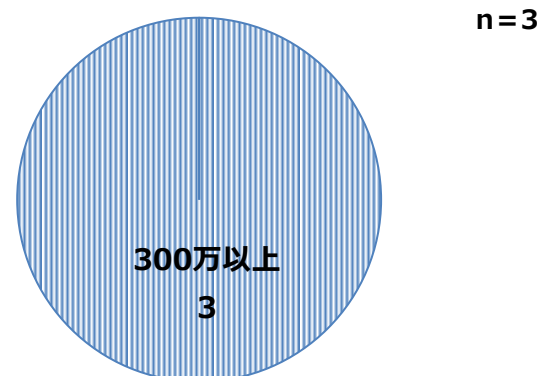
【全体】



【まちづくり活動】

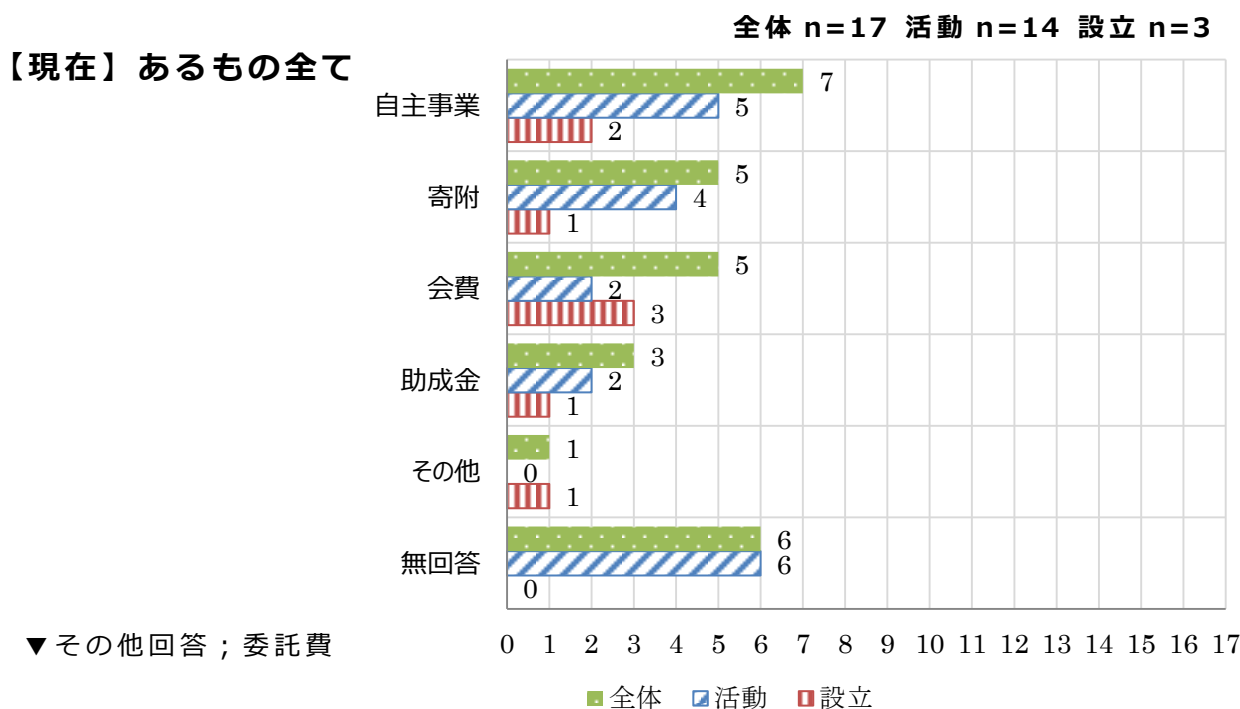


【NPO法人設立】



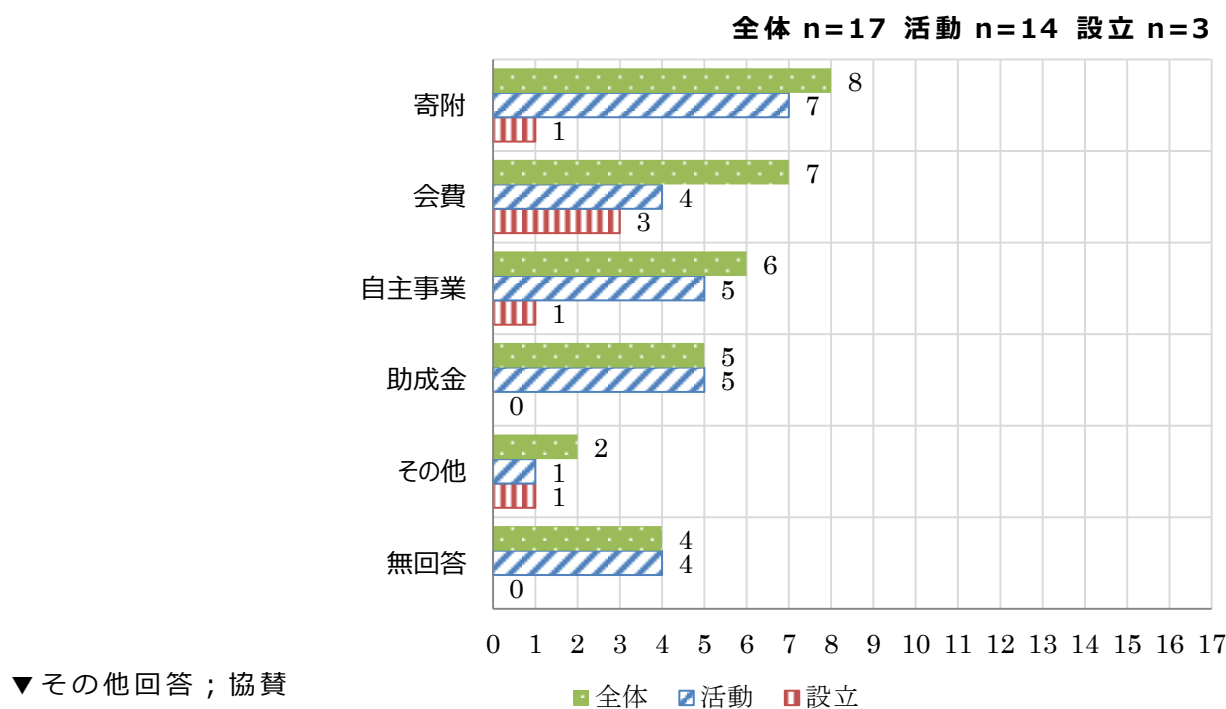
A-9 主な収入源

- ・【全体】では「自主事業」が7件と最も多く、「寄附」「会費」5件と次に多い結果となった。
- ・【まちづくり活動】では「自主事業」が5件と最も多く、「寄附」が4件と続いたのに対し、【NPO法人設立】では「会費」が3件と最も多く、「自主事業」が2件と続いた。



【今後】特に増やしたいもの3つまで

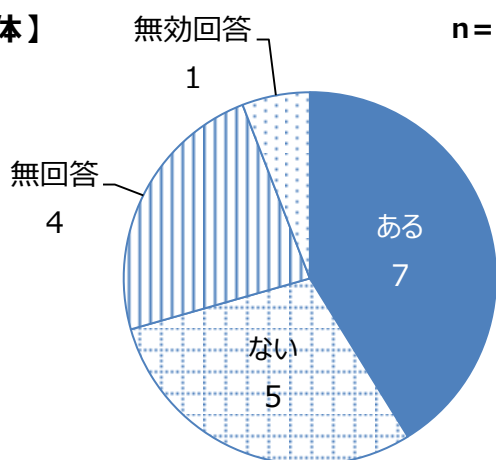
- ・【全体】では「寄附」が8件と最も多く、「会費」7件、「自主事業」6件と続いた。
- ・【まちづくり活動】では「寄附」が7件と最も多く、現在の収入源より増やしたいニーズが確認できた。
- ・【NPO法人設立】では「会費」が3件と回答者全てが選んでおり、「寄附」「自主事業」が続き、法人設立後の資金調達支援のニーズが把握できた。



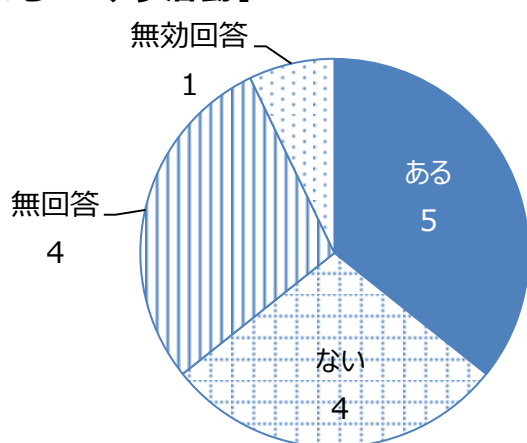
A-10 助成金・補助金による活動実績（過去3年間）

- ・【全体】では「ある」7件、うち、【まちづくり活動】5件、【NPO法人設立】2件であった。
- ・【NPO法人設立】では全国規模の助成金による活動実績がある。

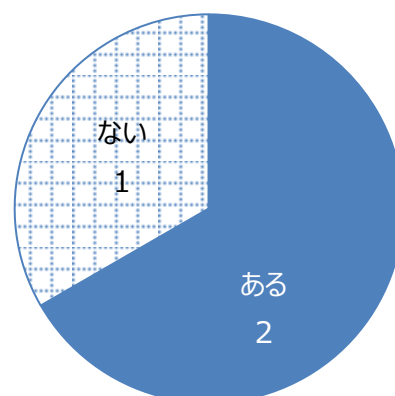
【全体】 n=17



【まちづくり活動】 n=14



【NPO法人設立】 n=3



▼補助金・助成金名；

【まちづくり活動】

- ・デンソー、アイシン、太陽生命
- ・（公財）ライオンズ日本財団 100,000円（R4年度）
- ・コロナ助成金
- ・コロナ禍前に、企業主権の助成金を活用（麒麟福祉財団など）。

【NPO法人設立】

- ・スポーツ振興くじ助成金
- ・WAM助成

A-11 かりや夢ファンドの活用が進んでいくためのアイデア・ご意見

【継続的な支援】

- ・金額は少なくなって良いので、広く、長く支援出来るようにして欲しい。
- ・1回だけの活動でなく、継続出来る事業とメンバーの心がまえ

【補助率を上げる】

- ・千葉県柏市など補助率 100%のところや、企業の助成金は 100%のところはほとんどである。その分活動報告を必ず行い、活用されていることが分かるようにすることで、より応援され、市民の方もふるさと納税をされる方の納得も得られる。

【対象となる活動内容】

- ・イベント型も考慮する

【活動を支える支援策】

- ・職員およびアドバイザーの伴走支援もあるとよい。